

編集・発行

協同組合青森総合卸センター

₹030-0131

青森市問屋町2丁目17-3 URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com ☎017-738-4711 FAX017-738-7323

5月9

Ĕ

に問

屋町会

2回理事会において、

発行/2023年5月31日

備の推進や問屋町ビジネスス 屋町の発展に尽力。団地再整

事長の退任に伴う新理事長の 長(㈱マツダアンフィニ青森) から23年間の長きにわたり問 が新理事長に選任された。 西前理事長は、2014年 役員としては2001年 から9年間理事長を務 柳谷副理事 プを発揮してきた。

期途中ではあるが、自身の市 実現させるなどリーダーシッ 指揮をとり、いち早い接種を 13年7月からは副理事長と 長を辞任することとなった。 長選出馬のため当組合の理事 は、ワクチン職域接種の陣頭 んできた。コロナ禍において に当組合の理事に就任、20 柳谷新理事長は2012年 今般、任

館1階会議室で開催された第 西前理 で問屋町の価値向上に取り組 西前理事長と共に組合運

や組合員 の求人活動支援など

が選ばれた。 治副理事長 田副理事長、

地域経済全体の牽引役として 多くの団体の要職も歴任し、 森県交通安全協会会長など数 青森経済同友会代表幹事や青 活躍している。

新三役による舵取りで、 町の更なる躍進が期待され った副理事長の選任も審議さ 事長の選任のほか、空席とな 第2回理事会では柳谷新理 石田理事 赤坂専務理事の 柳谷理事長、 (株ゆうネット) (株プリモ)、 佐 石

営を担ってきた。対外的にも

に伴い第9代理事長を拝命

ンターは北東北の流通拠点と

昨年は組合創立55周年

このような状況下、

当卸

この

度、

西前理事長の退任

新

理

事

長

就

任

0)

ぁ

こ

5

たしました柳谷章二です。

心中

増してきております。

ンジンとしての重要な役割がを迎えて、正に地域経済のエ

である「組合員の自主的な経

|卸センターは定款の目

経済は、新型コロナウイルス 全力を尽くして参りますの 皆様のご期待に応えるべく 昨年度の国内及び青森県の どうぞよろしくお願

会経済活動の正常化が見られ 進行による物価高により、 感染症やロシアによるウクラ イナ侵攻の影響でのエネルギ ることになりました。しかし 計や企業が深刻な影響を受け るようにもなりました。 や食糧価格の高騰や円安の コロナ禍からの社 家

きた三つの事業「経済的価値

に努める中、

これまで掲げて

済的地位の向上を図ること」

済活動を促進し、

かつその

経

を柱として持続可能な団地 事業」「文化的価値創造事業」 創造事業」「社会的価値創造

営に取り組んで参ります。

心からお願い申しあげます。

皆様方のご支援、ご協力を

招

シーズンは昇格条件が厳しく 構えるラインメール青森FC 要がある。 との入れ替え戦に勝利する必 を目指して奮闘中である。 は、JFLからJ3への昇格 た2位チームはJ3のチー 同クラブのホームゲー 問屋町にクラブオフィスを 年間順位2位以内、 ま 4

柳谷

章二

氏

スタジアムもしくは球技場で クヒログループアスレチック 新青森県総合運動公園内のカ 1試合平均入場者数2千人を ホーム戦の

開催されており、

第9代理事長

ラインメール青森FC

昨年度に引き続き、 目標にしている。 に限り問屋町の組合員限定で 無料招待を実施。 クラブでは 観戦希望の ホーム戦

©Rein Meer Aomori FC

らいっ ドラインからお申し込みくだ くか組合ホームページのヘッ 方は左記QRコードから専用 サイトにアクセスしていただ

ル青森FC

目指すラインメー ていただきたい。 問屋町からJリーグ入りを ぜひとも熱い声援を送っ

申込サイトQRコード

が参加

過去最多となる248名

年度からは毎回200名を超

々参加者が増え、2014

当初50名程度の参加から

業の方々にご協力いただ

パーティーの開催など承認 4年がりとなる問屋町納涼

案件一、労務対策委員会から 2年度塵芥収集等の回収実績 が4月26日 などについて報告した。 て原案どおり承認された。 主な案件審議は次のとおり また、事務局からは202 で開かれ、 2023年度第1回理事会 (水) に問屋町会 審議の結果、 全

案件三.2023年度第2回 催方法及び提出案件について 案件二 第56回通常総会の開 の意見について 理事会の日程等について

> 回取締役会も開かれ、 及び青森問屋町配送㈱の第1 センター㈱の第1回取締役会 おり承認された。 理事会終了後には、 提出案件全てが原案ど 青森卸

2022年度リサイクル回収実績

となった。 が8・1%と7割に迫る結果 サイクル回収量合計の割合) 回収が占め、リサイクル回収 のうち307tをリサイクル 収の総回収量は451t、 内の塵芥収集・リサイクル 2022年度における団地 (総排出量に占める各種リ 回

組合では一般ごみの個別収集

(t) 1000

が、 14・2% (2021年度) と全 なリサイクル回収事業をとお サイクル回収を皮切りに、空き ト、パソコン、蛍光灯など、様々 缶・ペットボトル、木製パレッ 国平均の20%を下回っている に加え、 て組合員の企業活動をサポ リサイクル率60%以上を維 問屋町では2015年度以 青森県のリサイクル率は 2002年度の紙類リ

紙類リサイクル

68.7%

70.0% 68.19

60.0%

50.0%

40.0%

30.0%

20.0%

67.4%

るリサイクル回収事業を推進 リサイクル率向上にも寄与す SDGs推進に積極的に取 の啓蒙活動にも努める。 組む組合では、SDGsの リサイクル意識向上のた 本県の

■ 空き缶等リサイクル ■ 燃えるゴミ・燃えないゴミ

持している。

木製パレットリサイクル
→ リサイクル率

 \emptyset 目標達成につながり、

いる当清掃活動は今年で22年 を迎える。組合員及び近隣 2002年度から実施して 年4月に記録した239名 過去最多となる参 201

を更新し、

加者数を記録した。

から248名が参加。

われ、

組合員及び近隣企業

合同清掃が4月13日

木

今年度1回目となる問屋町

問屋町合同清掃

き、朝から気持ちがよかった を交わしながら清掃活動がで じエリアで働く方たちと挨拶 加したが参加されている人数 観美化向上が図られている。 える参加者により団地内の景 の多さにびっくりした」「同 参加者からは「はじめて参

問屋町合同清掃

などの感想が寄せられた。

進んでいる。また、事業環境 過ぎ、 が高度化資金貸付制度である。 いる。その際、活用できるの 替え及び改築の時期を迎えて の変化に伴う既存施設のリ 合及び組合員施設は老朽化が 40年近くが経過しており、 ニューアルも求められ、建て 「卸団地の創立から55年が 説制度は、中小企業が集積 第二問屋町も造成から 組

基盤整備機構(以下、中小機 な資金を都道府県と中小企業 や中小企業が設備投資に必要 する卸団地等において、組合

資する制度となっている。 行いながら、長期・低利で融 計画等に対するアドバイスを

高度化事業制度のご紹介

能となっている。 や既存施設の増改築で利用 おいて新社屋を建設する場合 業に限られるが、 できる。制度の利用は中小企 80%を、20年間固定利率 023年度0・6%) で利用 同制度では、設備投資額の 問屋町内に $\widehat{2}$

となるため、 機構より事業認定の許可が下 る必要がある。その後、 等について診断・助言を受け 余裕を持って臨んでほし じめに都道府県より事業計画 たうえで事業の実施が可 同制度を利用する際は、 計画の作成には 中小

せは卸センター まで。

-総務部 五十

600 500 400 制度についてのお問い合わ 300

59.0%

リサイクル回収実績(2001~2022年度)

【高度化事業制度の概要】

- ①利用対象 中小企業
- ②貸付期間 最長20年以内
- ③貸付金利 0.60%固定(2023年度) ④貸付割合 貸付対象事業費の80%以内
- ⑤貸付対象 問屋町内における土地・建物・

構築物等の取得費、既存施設の

増改築、改修費など

おかげさまで40周年

家庭用家電製品卸



青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163



総 卸

青森市問屋町2丁目15番22号 〒030-0131 017 - 738 - 4311話

済

雑

感

日本銀行青森支店

支店長

武藤

郎

境では、収益面で大きなマイナ 業が多いため、現在のような環 販売活動を行う内需型の中小企て生産活動を行い、国内向けに

スが生じてしまう。

為替円安の

の物価上昇であった。当県で 起因する、コストプッシュ型 海外からの輸入物価の上昇に

してこなかったわが国では、値これまで長らく物価上昇を経験 転嫁を行うことが困難である。 あるいは制度面の問題から価格

完

輸入原材料を仕入れ

物価上昇は、そのほとんどが

これまでにわが国で生じた

企業は多くはない。 には、価格転嫁を十ろうが、現実

企業によっ 分に行える

ては、需要者や取引先との関係、

れる。かなり重くなっていると思わ り、当県企業経営者の負担は では、当地でも昨年来の物価て雑感を記したが、経済の面

前回は青森県の魅力につ

転嫁できれば、 の販売価格に

経済雑感をお送りする。 青森支店の武藤支店長による

っている。

原材料価格

の大企業とは大きく状況が異な

メリットを享受する輸出志向型

前号に引き続き、

日本銀行

高騰という逆風に晒されてお

軽減されるだ

隊 緑 員 の 募 ボ 集 ラ ン テ 1 ア 隊

もできる作業もあるので、ご

家族で気軽に参加していただ

意しており、

小さなお子様で

きたい。

隊の活動は6月から10月の間、 整備の 今年で結成18年目を迎える。 作業に必要な道具等は全て用 の隊員募集を行っている。 問屋町緑のボランティア隊 定 幹線及び枝線道路の街路樹 1回程度、 化緑化推進運動に取り組む 組合では現在、 同隊は2006年に発足し、 組合管理地への花苗植栽 除草などに取り組む。 一環として、 日曜日の午前中 街 団地内の 並 一景観



昨年のボランティア隊の活動の様子

10 4 日 月 12日▽問屋町支店長

▽問屋町経営同友会昼食

主要事項

17日>金融審査会 13日▽第1回問屋町合同清!

絡会昼食会

とげを行う慣行が確立されてい 20日▽第1回労務対策委員会19日▽第1回三役会

が深刻化していることや、物価はあるが、足もとでは人手不足 観点から、 高のもとで従業員の生活保障の こうした厳しい環境のもとで 賃上げの必要性が叫

日本銀行 青森支店 支店長 武藤 なるベースア

を行うことは、 で余力のある企業がまず賃上げ 要である。その点では、 みると、望ましい動きといえる。 は、賃金上昇が生じることが必 経済の好循環を生むために プが実現する見込みである。 経済全体として 収益面

-郎 氏 使交渉では、 現在行われて はれている。

に、約30年ぶ 大企業を中心 りの高水準と

起因するものではなく、 もっとも、 う。 上げを行うことは困難であろ と、すべての企業が一律に賃 に起因している点を踏まえる まで輸入原材料コストの上昇 価上昇が、国内需要の強さに 現在生じている物 あく

まえると、やはり大事なのは、 ものではなく、国内需要の面とは、コストプッシュによる こからが正念場である 状況が生まれるかどうか、 る。当県で今後、 今後、景気回復の足取りがよ きる状況を指す。その点を踏 企業が賃上げの原資を確保で から好循環が生まれ、多くの 「賃金上昇を伴う物価上昇」 確かなものになることであ 日本銀行が目指して そのような 1

合ホームページにて公開して いる。お問い合わせは卸セン 申込方法などについては組 27日>問屋町経営同友会第1□取締役会回取締役会回取締役会 26 日 25日▽問屋町支店長 >第1回理事会 絡会第1回幹事会 ▽青森卸センター㈱第1 [役員会 ·所長連

ター業務部(堀内)まで。

新規職員採用のお知らせ 協青森総合卸センタ

新規採用

·所長連

 ∇

業務部業務課

4月1日付 後藤 康生





ENEOSグロー フエナジー株式会社

〒030-0131青森県青森市問屋町二丁目1番地11号 北日本支社 TEL 017-738-2240 FAX 017-738-2333 https://eg-energy.jp/



TEL 0172-62-5508 FAX 62-5516 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢字西花岡82-1 URL https://www.**qi-sign.com**

問屋町事業部

TEL 017-729-8787 FAX 729-2099 〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2-12





寸

地

企

訪

得て様々な事故防止対策が講

とも難しくなるので、その

ています」

暮らしになると出歩くこ

ています。高齢になり一いエリアに積極的に出店「当社は、お客様の住居に

支部が創立50周年を迎える 青森交通安全協会問屋町

年を迎えた。 年4月14日をもって創立50周 同支部は「交通の安全を保 青森交通安全協会問屋町支 (工藤支部長) が2023

きたほか、 で安全運転啓蒙活動を行って 創設された。 これまで、 や無事故・無違反コンクーこれまで、交通安全街頭指 的に1973年4月14日に 「全なる発達を図ること」を 故防止のため、 し、会員相互の連絡と交通 安全運転講習会の開催等 交通診断を定期的 関係機関の協力を 交通安全の

努めてきた。 じられるなど交通事故防止に 今年度は創立50周年を記念

寄贈、無事故・無違反コンクー いる。 ル参加促進事業等を計画して 小学校への交通安全グッズの して記念式典を開催するほ 交通遺児への寄付や近隣

交通事故実態調査まとまる 安協問屋町支部

た。 度の交通事故実態調査を実施部が会員を対象に2022年 その調査結果がまとまっ 森交通安全協会問屋町支

調査の結果、 故件数0件) 全143社から回答を得た 無事故 会員事業所は1 (加害事

から14件減少して25件であっ5件減少、被害事故も前年度 事故件数は51件と前年度から19社・8%であった。加害 た。

果となった。 事故が全体の75%を占める結めると確認不足を要因とする 18件で、「後方不注意」、「右 なったのは「前方不注意」 左折時の不確認」の二つも含 加害事故発生要因で最多と 0)

· · 事故発生箇所

れる。 月で全体の24%を占め、前年では、最多月となったのが1また、事故発生時期の調査 箇所については、回答いただ問屋町内における事故発生 度から7%増加。1月の大雪 が事故発生に影響したと思わ

の皆さんにもぜひ利用していや問屋町で働いている従業員ーがないので、近隣住民の方ます。問屋町周辺にはスーパ 屋町にスー うと「今 いた7件のうち1件が交差点 屋町にスーパー27と「今年の95 新たな取り組2 ハーがオープントの9月上旬には関り組みについて包 ィープンし上旬には問いていて何

代表取締役社長 惠三 氏 プチマートのは小規模店舗 す。また今後 ただきたいで

(株)マエダ

今回の団地企業訪問は、 今回の団地企業訪問は、 を伺った。 同社は、菜種油や雑穀を 同社は、菜種油や雑穀を が、マエダインのでいる。 では、菜種油や雑穀を が、マエダの前田社長にお話 を同った。

所に出店していけたらと考えています。店舗に来ていただ、ぜひ惣菜を手に取ったは自社工場社は自社工場を出入・加工の仕入・加工の仕入・加工の仕入・加工のです。当

はいるといった仕組みを作ります。 一行き届いた環境で製造することで鮮度の良い安心・安全でとで鮮度の良い安心・安全ではいしい商品、新鮮な商品をおいしい商品、新鮮な商品をおいしい商品、新鮮な商品を

化を続けている。化を続けている。化を続けている。

(大) は (大) を惜しむな 行動せよ』で、 (大) を問います。 半歩でいいかな から 一努力をするよ

愉快です。

らいいですね」と締めくくっ切に楽しく取り組んでいけた

す」と話す。 親会を今年から復活させま 各地区での目標発表会と懇 禍でできていなかったので、 す。社員との交流もコうにと社員には伝えて プライベートに話が及ぶと ロカま

よく行きます。青森県も近隣あります。最近は八甲田山に登ることもあれば一人の時も て、週1回、年間50回ペース青森の山岳会に所属してい で登っています。 しています」と笑う。 l快です。何事にも正直、親切、好きな言葉は「正直、親切、 2整備されればいいなと期待2県のように登山道がもう少 趣味は山登りです。 仲間数人で むつと

問屋町内の交通事故発生箇所 受けられ、

お問い合わせ

しくは駐車場内での事故だっで発生、6件が自社敷地内も

考に、 ە د ۸ 成予定日2025年3月 日)に向け、 死亡事故ゼロ1万日達成 同支部では、 安全運転を呼びかけて 本調査結果を参 25年3月14日屋町内交通

前理事長の退任に伴う正一面で既報のとおり西 第9代理事長に柳谷章 副理事長の変更があり、 新副理事長に石田

まで同 はなかなか抜けません。マスク ナ時代。3年余り続いた習慣 ルデンウィークは曜日の並びも たしました。新体制でもこれ 控えや運動不足との指摘もあ コロナ禍によるがん検診の受診 りになっています▼この要因は、 れ、青森県の短命県が浮き彫 ースト10位に男性は県内7市 位。しかも全国市区町村のワ 残念ながら定位置のワーストー 表になりましたが、 〇年市区町村別平均寿命が発 とついやってしまいます▼202 すし、手の消毒も置いてある ネルもまだまだ見受けられま を着用している人やアクリルパ す▼そうはいっても長かったコロ 来たんだなあと嬉しく思いま わっていました。やっとここまで たので海外からの観光客も見 は大型クルーズ船も寄港してい も多いと思います。青森港に いたします▼さて、今年のゴー すので、どうぞよろしくお願い ながる事業を実施して参り どに前向きに取り組みたいで し切り替えて、 シーに連れて行かないと ね。 村、 憲久氏がそれぞれ就任 大型連休を満喫した方 今年こそ妻をディズニー 女性は6市町村が含ま 今までと気持ちを少 観光地はどこも賑 組合員の支援につ 旅行や運動な 青森県は





https://www.a-alsok.jp/

000120-711-806 (平日9時~18時)